

うるま市と国立大学法人琉球大学及び公立大学法人名桜大学による
地域における雇用創出・若者定着に係る協定書

うるま市（以下「甲」という）と国立大学法人琉球大学（以下「乙」という）
及び公立大学法人名桜大学（以下「丙」という）は、うるま市における雇用創
出・若者定着の推進を図るため、次のとおり連携協定を締結する。

（目的）

第1条 平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事
業（COC+）」に採択された乙及び丙のプログラム「新たな地域社会を創造
する『未来叶い（ミライカナイ）』プロジェクト」事業（以下「COC+事業」
という）及び甲の「うるま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合
戦略」という）の推進のため、うるま市における雇用創出・若者定着に関す
る目標を定め、その達成を図ることを目的とする。

（目標）

第2条 総合戦略における雇用創出・若者定着に係る主な目標は、平成31年
度における各種雇用施策による就職者数1,413人である。この全体の目標に
関して、甲、乙、丙が第6条に定められた期間内において、前条に掲げた達
成すべき目標は、以下のとおりとする。

- （1）各種就労支援事業や人材育成事業について、乙、丙と連携を図りながら
実施することによって雇用及び就業機会を創出し、平成31年度における
新規就職者数を1,413人とするを目標とする。
- （2）甲、乙、丙が連携したインターンシッププログラムを実施することによ
って、地域特性を活かした産業分野を担う人材を育成する機会を創出する
こととし、平成29年度以降、乙及び丙の学生の年間10人以上の市内事
業所への受け入れを目標とする。

2 COC+事業における数値目標は、事業協働地域就職率10ポイント増（乙
及び丙の事業協働地域での就職者数132人増）、事業協働機関雇用創出数
（以下「COC+雇用創出数」という）18人である。この全体の目標に関し
て、甲、乙、丙が第6条に定められた期間内において、前条に掲げた達成す
べき目標は、前項（1）のうち、平成31年度における乙及び丙の新規卒業
生による就職者数を平成26年実績から3名以上の増加、COC+雇用創出数
を事業期間中に2名以上とする。

（連携する内容）

第3条 第1条に掲げた目的を達成するため、甲、乙、丙は以下の取組を連携
して実施する。

- （1）地域課題（ニーズ）の把握・提供、雇用関連の情報提供に関すること。
- （2）雇用創出・若者定着に向けた教育、人材育成に関すること。
- （3）既存産業の活性化、新産業の創出に向けた取組に関すること。
- （4）学生の実践教育における場の提供に関すること。
- （5）その他、目標を達成するために、甲、乙、丙が必要と認める取組に関す
ること。

2 前項の取組を進めるにあたり、必要な方策等については、3者による協議
の上、別途定める。

（検証）

第4条 甲、乙、丙は、前条に掲げられた取組の実施後に成果検証委員会を設
置し、第2条に掲げた目標に対する成果を検証し、必要に応じて取組の改善
を行う。

（意見交換）

第5条 甲、乙、丙は、この協定の目的を達成するため、必要に応じて意見交
換を行う。

（有効期間）

第6条 この協定は、協定締結の日から発効し、平成32年3月31日までと
する。

（その他）

第7条 この協定に定めのない事項又はこの協定に疑義が生じた場合は、甲、
乙、丙の3者による協議の上、決定する。

この協定の締結を証するため、本協定書を3通作成し、甲、乙、丙それぞれ
署名押印の上、各自1通を保有する。

平成29年3月29日

（甲） 沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号
うるま市

市長

島袋俊夫



（乙） 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
国立大学法人琉球大学

学長

大城肇



（丙） 沖縄県名護市字為又1220-1
公立大学法人名桜大学

学長

山里勝己

